

くにたちの教育

第169号

発行・編集 / 国立市教育委員会

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1
<https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>
 電話 (576) 2111 FAX (576) 3277

記事 PDF と音訳版は
 教育委員会▶
 ホームページ -
 教育広報
 「くにたちの教育」から



令和4年度 国立市 科学に関する自由研究発表会

9月21日(水) くにたち市民芸術小ホールにて、ヤクルト本社中央研究所のご協力のもと、自ら決めたテーマについて、学校での学習を生かしながら行った自由研究を発表し合う場を児童に提供しました。各市立小学校から1名ずつ推薦された代表児童が、自身の作品についてプレゼンテーションを行い、ヤクルト本社中央研究所の研究者から心のこもった講評を受けました。教育長が、参加した児童8名全員に、「国立市 夏季休業日中の自由研究における優秀賞」を授与しました。また、審査の結果、国立第三小学校 高津 朔太郎さんの作品が令和4年度東京都小学生科学展国立市代表作品に、国立第二小学校 高田 さやかさんの作品が「ヤクルト中央研究所賞」に選ばれました。

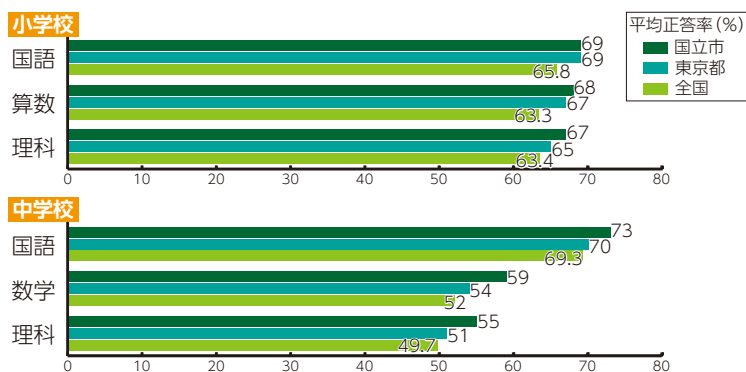
教育指導支援課

※撮影のため一時的にマスクを外しています

テーマ	所属小学校	発表児童
10円玉に何をめったらピカピカになるか	国立第一小学校	佐伯 悠さん
非接触体温計、体温は正しく測れるの？	国立第二小学校	高田 さやかさん
アゲハ・クロアゲハ・ナガサキアゲハ・アオスジアゲハの成長観察	国立第三小学校	高津 朔太郎さん
水を一瞬で氷にする?!	国立第四小学校	津田 安佳里さん
指紋採取	国立第五小学校	中村 美智さん
湿度と体温の関係	国立第六小学校	福益 紀子さん
海はなぜ青いの?!	国立第七小学校	那波 落さん
ヨーグルトのふた	国立第八小学校	加藤 夷さん



実施日 令和4年4月19日(火) 対象年齢 小学校第6学年及び中学校第3学年



「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果

小学校は、2教科で東京都の平均正答率を上回りました。引き続き、各校が自校の課題を踏まえ、基礎・基本の確実な定着と既習事項を活用する力の育成を図っていきます。また、1人1台端末等のデジタル機器や教材を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、より一層充実した授業改善に取り組んでいきます。

中学校は、全国及び東京都の平均正答率を上回り、良好な状況を維持しています。今後も、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりについて研究を深めていきます。本調査結果を活用し、国立市教育委員会は学力向上施策の充実を図っていきます。

なお、本調査により測定できるものは児童・生徒の学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

教育指導支援課

児童・生徒の体力・運動能力

表は「令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」における本市の児童・生徒の状況です。

全体としては、小学校(女子)、中学校は、東京都の平均値を上回る結果となっています。青い網掛けの数値は、東京都の平均値を上回っています。種目ごとに見ると、「持久走」、「20mシャトルラン」、「50M走」「ソフトボール投げ」は、男女共に多くの学年で都の平均と同程度か上回る結果となっています。

一方、「長座体前屈」「立ち幅とび」には課題があることも明らかになりました。全般的に令和3年度と比較すると平均点が上昇傾向にあります。

今後も、調査結果から個別の課題を明確にした上で、休み時間や放課後に進んで体を動かす児童・生徒がさらに増えるよう支援する等、体力向上のための取組を推進していきます。ご家庭でも、体を使って遊ぶ機会をできる限り多く作っていただければと思います。

教育指導支援課 (内線) 331

令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果 【国立市】

校種	学年	平均値												
		身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	持久走(分)	20mシャトルラン(回)	50M走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点	
男子	小学校	1年	117.1	21.1	8.8	10.5	24.9	26.6	-	17.8	11.5	114.7	7.5	29.2
		2年	123.5	24.1	10.2	13.5	26.9	30.4	-	25.4	10.5	122.9	10.2	35.9
		3年	128.7	27.2	12.4	15.5	28.7	33.3	-	32.6	10.1	131.2	14.0	41.8
		4年	134.5	29.9	13.8	18.1	30.8	36.5	-	41.0	9.6	141.2	16.2	47.8
		5年	139.8	33.5	16.1	19.9	33.6	40.8	-	50.7	9.2	150.1	20.4	53.6
		6年	146.8	38.9	19.0	21.6	36.0	44.1	-	52.7	8.9	156.2	23.4	58.2
中学校	1年	155.3	43.9	26.0	23.4	40.8	49.1	432.9	64.3	8.2	186.3	18.3	34.8	
	2年	160.4	48.5	29.6	25.1	43.5	51.3	396.5	45.8	7.9	191.3	21.5	39.9	
	3年	167.0	52.9	35.7	26.8	45.7	54.3	379.7	85.5	7.6	203.5	23.1	45.9	
女子	小学校	1年	116.3	20.8	8.1	11.1	27.3	26.1	-	14.9	11.9	106.1	5.1	29.5
		2年	121.6	23.2	9.6	13.0	29.3	29.2	-	19.1	10.9	116.3	7.0	36.7
		3年	127.9	26.5	11.7	15.7	32.4	32.5	-	24.5	10.3	124.8	8.9	43.4
		4年	134.7	30.3	13.6	18.6	34.9	36.4	-	31.5	9.9	136.0	10.9	50.1
		5年	141.4	34.3	16.1	18.9	37.0	39.7	-	37.7	9.4	144.1	13.2	55.5
		6年	148.3	39.9	18.7	20.2	40.8	42.5	-	41.3	9.2	148.0	14.8	59.7
中学校	1年	153.3	43.2	23.1	20.5	43.4	46.3	311.2	20.8	8.7	169.6	12.0	46.1	
	2年	155.0	46.3	23.9	21.3	42.3	46.6	296.3	31.3	8.7	164.9	12.5	46.6	
	3年	157.4	48.6	25.9	23.8	51.2	47.6	290.0	43.0	8.7	163.8	14.0	51.7	

「アンヴィル奈宝子氏講演会とワークショップ(ゾウを描こう)」報告

国立ゆかりの絵本作家、アンヴィル奈宝子さんは、今まで20冊以上の絵本を出版しています。ラストシリーズや「クラクフのりゅう」「ねずみのよめいり」などが主な作品です。

9月11日(日)の講演会では、気が付くと動物が主人公の絵本が年に1~2冊できていたという絵本制作についてのお話をいただき、その後、

みんなで楽しく「ゾウ」の絵を描くワークショップを実施しました。

なお、この講座は定員が一杯となり、27人の参加がありました。参加者は、「アンヴィル先生の語りが優しく、癒されました。」と話していました。

中央図書館



▲アンヴィル奈宝子さん(後列中央)を中心に、参加者自身が描いた「ゾウ」の絵と集合写真を撮影しました



▲講演会会場とワークショップの様子▲

令和5年くにはたちの集い(旧成人式)開催

国立市では、くにはたちの集い(旧成人式)を2回に分けて実施します。参加回については下記の表をご確認ください。実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ってまいります。感染状況によっては実施内容が変更となる場合もあります。最新の情報については国立市ホームページをご確認ください。

- 日程** 令和5年1月9日(月・祝)
- 会場** くにはたち市民総合体育館(富士見台2-48-1)
- 対象** 平成14(2002)年4月2日から平成15(2003)年4月1日生まれの方
- プログラム** お祝いのことば、代表のことば、くにはたちの集い準備会による企画など(30分程度)

※例年実施しているケーキパーティーは実施しません。
 ※保護者の入場は、介助等による場合を除き、お断りさせていただきます。
 ※当日は、手話通訳を行います。
 ※住民登録をしている対象者には、12月上旬頃に案内はがきを郵送する予定です。はがきをご持参のうえご参加ください。国立市に住民登録がない方で、参加を希望される方は、下記問い合わせ先に電話でお申し込みください。

【問合せ】生涯学習課社会教育・文化芸術係 042-576-2111



▲昨年度の様子



↑くにはたちの集い(旧成人式)詳細ページ

参加回	時間	対象区域
第1回	午前10時30分～午前11時 (午前10時開場)	国立第一中学校出身または学区にお住まいの方、国立市外にお住まいの方
第2回	午後1時～午後1時30分 (午後0時30分開場)	国立第二中学校、国立第三中学校出身または学区にお住まいの方

※指定の参加回以外での参加も可能です。なお、その際の事前連絡は不要です。(両方への参加はできません。)

令和5年くにはたちの集い(旧成人式)に向けて準備を進めています

国立市では、令和5年のくにはたちの集い(旧成人式)に向けて、準備会(くにはたちの集い運営ボランティア)を結成し、9月から活動しています。

準備会では、公募のメンバーが、自らの二十歳を祝う集いを盛り上げるために、当日実施する企画や配布するプログラムのデザインについて、話し合いを重ねています。

二十歳になる皆様、ぜひ、くにはたちの集いにご参加ください。

準備会メンバーは、来年も募集する予定です。異なる出身校の同世代と知り合い、協力して一つのことを成し遂げる経験ができます。例年5月頃から募集を開始しておりますので、来年度二十歳になる方で、ご興味のある方は、ぜひお申し込みください。

生涯学習課社会教育・文化芸術係



▲準備会の様子

国立第六小学校に自閉症・情緒しょうがい特別支援学級を開設します

令和5年度から、国立第六小学校に、市立小学校3校目となる自閉症・情緒しょうがい特別支援学級を開設します。情緒的な要因から通常の学級における学習が難しい児童、または週1回程度の特別支援教室(はばたき)での指導だけでは十分その効果を上げることが難しい児童を対象とした学級です。

紹介リーフレットを市立小学校の家庭に配布しています(教育委員会のホームページからもダウンロードいただけます。)



▲特別支援教室紹介リーフレット

教育指導支援課

学校と保護者とを結ぶ連絡システムを導入します

国立市立小・中学校において、学校と保護者とを結ぶ「新連絡システム」を導入します。お手持ちのスマートフォン、または携帯電話等でご利用いただくサービスとなります。(通信料金は、家庭でのご負担となります。)新連絡システムでは、今までの学校からのメール配信だけではなく、手紙の配信や検温確認・出欠席の連絡などの機能が使用可能となります。開始のスケジュールを含め、詳しくは、学校からの案内をお待ちください。

教育指導支援課(内線)336

不安や悩みを抱える児童・生徒を早期発見するための調査を実施しました

東京都教育委員会は、都内公立学校に「ふれあい(いじめ防止強化)月間におけるいじめ及び不登校に関する調査」を実施しています。国立市立学校においては、いじめや不登校の防止等に向けた学校の取組の実態を、質問紙形式で6月と11月に調査しています。

この度、ふれあい月間における調査に加えて、不安や悩みを抱える児童・生徒を早期発見するために、実態把握をするための調査を11月に実施しました。

教育指導支援課

授業力の向上にむけ、国立市立小・中学校で合同授業研究会を行いました

国立市教育委員会では、教員が児童・生徒にとって魅力的な授業を展開し、確かな学力を身に付けさせることができるよう、共通研究テーマを「主体的・対話的で深い学びを通じた資質・能力の育成―指導と評価の一体化―」とし、市立小・中学校の全ての教員による授業研究を中心とした研究会を設置・運営しています。去る10月19日(水)及び11月9日(水)には、全16部会における公開授業及び研究協議会を開催しました。

今後も、新学習指導要領の趣旨を踏まえて、講師の先生方からいただいたご指導を生かし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に、全ての教員が共通意識をもって取り組んでいきます。

教育指導支援課



▲10月19日の公開授業の様子
新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者、地域の方、他区市町村の先生方などの参加は中止としました

カジュアルウィーク 三中

国立第三中学校において、9月5日(月)から9月9日(金)の5日間、生徒会活動の一環として「カジュアルウィーク」を実施しました。生徒の自主性向上や暑さ対策を目的として、制服、体操着に加え私服での登校も可とする取組です。

実施に際し、生徒会を中心にルール作りを行いました。気軽に私服登校ができるよう、細かすぎないルール作りに苦労したようです。初日はおよそ2割の生徒が私服で登校しましたが、最終的には5割弱の生徒が私服で登校しました。この取組は、4社(NHK首都圏ネットワーク、東京MX news TOKYO FLAG、J-com地元応援つながるニュース、読売新聞9月8日(日)多摩版)の報道機関にも取り上げていただきました。

今年度は試験的に実施し、次年度以降の検討事項とする予定です。

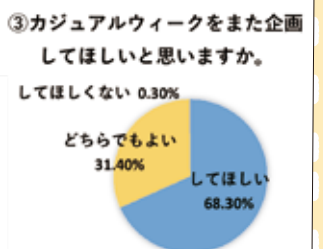
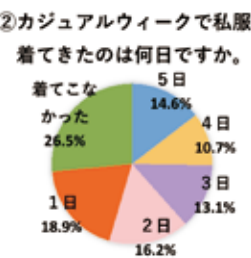
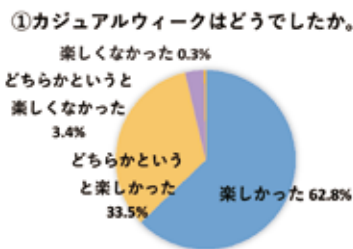
なお、生徒や保護者アンケートの結果は次のとおりでした。

教育指導支援課

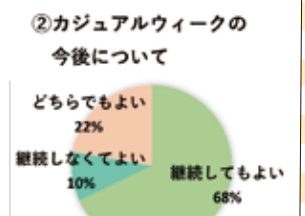
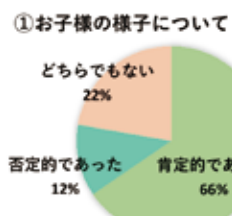


カジュアルウィークアンケート結果

【生徒アンケート(全学年)】



【保護者アンケート】回答率(約50%)



令和4年度マタギの地恵体験学習会を実施しました

※新型コロナウイルス感染症拡大により、当初予定していたプログラムや日程を変更して実施しました

9月24日(土)から25日(日)の2日間、国立市内の小学4年生から6年生の14名の児童が、国立市と友好交流都市協定を結んでいる北秋田市の協力を得て、北秋田市での体験学習会に参加しました。体験学習会では、植樹体験や伊勢堂岱縄文館、マタギ資料館などを見学しました。

10月30日(日)に実施した報告会では、参加した児童から「国立市ではできない貴重な体験ができた」「もっと植樹について多くの人たちに知ってもらいたい」「マタギの道具は一つ一つに工夫がされていることが印象に残った」などの発表がされました。子どもたちにとって、新たな発見や学びを得ることができた2日間となりました。



▲体験学習会(植樹体験)の様子
※撮影のため一時的にマスクを外しています



▲報告会の様子

生涯学習課

東京文化財ウィークが開催されました



◀「民具調査の思い出と谷保の暮らし」座談会の様子



▶「旧日本家住宅解体部材と埋蔵文化財調査 見学会」の様子

10月29日(土)から11月6日(日)にかけ、東京文化財ウィークが開催され、都内各地で指定・登録文化財の公開や関連企画事業が多数行われました。

国立市でも、旧日本家住宅表門や、三田氏館跡、伊藤単朴の墓、大形石棒が公開されました。

また、期間中、関連企画事業として11月5日(土)に「旧日本家住宅解体部材と埋蔵文化財調査 見学会」を実施し、47名が参加されました。

さらに、くにたち郷土文化館で11月23日(水)まで開催された、秋季企画展「歩いて集めて見て聞いて 消えゆく暮らしを記録せよ」の関連イベントとして、10月9日(日)に「座談会&谷保の歌 民具調査の思い出と谷保の暮らし」が開催され、30名が参加されました。

生涯学習課社会教育・文化芸術係

稲刈りを行いました

10月21日(金)、晴天の中、城山さとのいえ前の体験田で市立小学校の5年生全員が稲刈りを体験しました。

教育指導支援課

「ファミリーソフトボール教室」を開催しました

11月13日(日)に、東京女子体育大学の協力により、3年ぶりに同大学のソフトボールコートにおいてファミリーソフトボール教室を開催することができました。同大学准教授の佐藤理恵先生と教務補佐の山本先生が中心となり、初心者にも分かりやすく教えてくださいました。参加したのは市内の小学1年生から3年生と保護者のペアで合計44名。スポンジ状のやわらかいボールとバットを使って、投げ方やバッティングも練習しました。最後のゲームでは思い切り打って走って大盛り上がり。ソフトボールの経験があるなしにかかわらず、みんなが楽しめて、笑顔がいっぱいの一日となりました。

生涯学習課



図書館 図書館協議会の報告と提言が提出されました

第23期図書館協議会委員(10名。任期:令和2年11月~令和4年10月)により、これからの図書館のありかたについて議論が重ねられ、「第23期図書館協議会報告と提言」がまとめられましたので、概要をお知らせします。図書館では今回の提言の内容をふまえ、よりよい図書館づくりを進めていきます。

■様々な住民の方へ届く図書館

児童サービス、しょうがいしゃサービス、多文化サービスを推進することが極めて重要と考えます。

■図書館の機能強化へ向けて

地域に関する資料・情報提供や駅前エリアの図書館サービスの充実、図書館分室の活用方法の模索について、検討を進めていくことが望まれます。

■様々な施設との連携

市内小・中学校、一橋大学、NHK学園と、日常的な連携・協力や生涯学習に関わる事業の情報交換、ニーズの把握、企画案の検討などを定期的に行う必要があります。

■今後へむけて

まもなく開館50周年を迎える図書館が、市内に住む様々な世代の方々にどのように利用され、何を望まれているのか、これまでを総括してこれからどんな図書館を目指すのか、市民と共に考えることが重要です。

詳しくは図書館ホームページをご覧ください。

中央図書館

図書館 ブラインドブックフェア開催&おすすめ本紹介文募集中!

ブラインドブックフェアとは、図書館の本を新聞紙で包み隠し、添えられた紹介文をヒントに本を借りていただくイベントです。今年で5回目の開催です。紹介文はYAすたっふ(図書館の10代ボランティア)と図書館職員に加えて、市民の皆さまにもお寄せいただけます。

ブラインドブックフェアの企画と準備は、YAすたっふが中心となっています。月に一度のミーティングでおすすめ本を選び、紹介文を書きます。ミーティング中に完成しない場合は自宅に持ち帰って作成することもあります。破れやすい新聞紙で本を包むのも難しいですが、ピシッと綺麗に包めるように何度も練習しました。

自分では選ばない本、懐かしい本に出会うかもしれません。紹介文との一期一会を楽しんで、ぜひ借りてみてください。

また、おすすめ本の紹介文を市民の皆様からも募集中です。自分が好きな本の魅力を誰かに伝えてみませんか?図書館で配布している「コメントシート」に紹介文を記入し、図書館にお持ちください。コメントシートは図書館ホームページからもダウンロードできます。たくさんのご応募、お待ちしております!

日時 令和5年1月4日(水)から1月30日(月)まで

場所 中央図書館(富士見台2-34)
北市民プラザ図書館(国立市北3-1-1(北三丁目Aパート9号棟1階))

問合せ 中央図書館 YA サービス担当 ☎ 576-0161



▲昨年度の様子

国立第六小学校でイノベーション体験授業を実施しました

9月28日(水)に国立第六小学校の5年生のクラスで、(株)ロッテのご協力のもと、今あるお菓子里に新しいモノをかけ合わせて「食べる人の願いや喜びをかなえるお菓子」を創造する、イノベーション体験授業を実施しました。

授業を通じて子どもたちは、価値を創造するためお互いの発想を認め合う大切さを学びました。最後の発表では、「ガム×透明=噛むまで味がわからない透明ガム」「アイスクリーム×タルト=溶けても手が汚れないアイス」など、数々の魅力的なお菓子が発明されました。

今回の授業は、キャリア教育プログラムの情報紹介サイトを通じて学校が応募し、実現しました。今回育んだ創造的思考力は、周りの大人にサポートを求めながら子どもたち自身が協力して課題を解決する場面に生かされていきます。

今後も本紙では、様々な立場の方々にご協力いただきながら学びの充実を図る学校現場の取組を紹介していきます。

教育総務課



▲お菓子里に何をかけ合わせるか真剣に議論する子どもたち

入学前準備金について

教育費にお困りで世帯の所得合計が一定基準に満たない保護者の方に、入学に必要な教育費の一部を援助します。

<申請が必要な方>

- 来年度小学校に入学するお子さまの保護者
- 来年度中学校に入学する小学6学年のお子さまの保護者で、今年度の就学援助費の申請がお済みでない方(既に今年度の就学援助費の認定を受けている小学6学年のお子様の保護者は申請不要です)

<申請期限>

小・中学校ともに12月28日(水)まで
詳細については、市報11月20日号または市ホームページをご覧ください。 教育総務課学務保健係 (41番窓口)

『災害時等における学校給食食材の供給に関する協定書』を締結しました

近年日本国内では、大雨や大規模地震など自然災害が複数回発生しており、国立市においてもそれらの自然災害の発生を前提とした給食運営が求められるところです。

市では、災害発生によって給食センターが稼働できない状況に陥った場合にも市立小・中学校の児童・生徒に簡易的な給食提供ができる体制を作るため、普段から定期的に食材購入を行っている食品業者2社（株式会社イチマツ食品、東毛酪農業協同組合）と『災害時等における学校給食食材の供給に関する協定書』を締結しました。

協定の締結により、災害等で給食センターが稼働停止となった場合には、パン類、米飯類、乳製品などを学校に直接届けるよう、上記の業者に協力依頼ができるようになります。

今後も、普段の安心安全な給食提供はもちろん、災害時にも安心できる学校給食の運営に努めていきます。

学校給食センター第一給食センター ☎572-4177

学校給食食材の外部機関による放射能測定検査について

放射能測定検査は、東日本大震災発生に伴い、平成23年7月から外部機関による精度の高い測定検査を開始しています。この測定検査は、翌月使用する食材に関して、保護者の皆様の意見も参考にしながら、所長・栄養士において検査が必要であると判断した場合に、外部に委託し、実施しています。

農林水産省が設定する食品中の放射性セシウムの基準値は一般食品 100Bq/kg、牛乳 50Bq/kg ですが、国立市では、品目によって 0.7 Bq/kg から 1.0 Bq/kg を測定下限値として測定しています。

これにより、万が一、微量でも検出される食材があった場合は、その都度、保護者の皆様にお知らせしたうえで、産地の変更や献立変更を行って対応しています。

今後とも、安心安全な給食提供業務のため、細心の注意を払ってまいりますので、保護者の皆様におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校給食センター第一給食センター ☎572-4177

給食費の納期限内納入にご協力ください

学校給食の食材費は、保護者の皆様から納入していただいた給食費のみで賄っております。給食費を納入していただけないと、給食の量や質に影響し、結果的に児童生徒にも影響が及びます。また、給食費を納めている方と納めていない方との間に不公平が生じます。

保護者の皆様におかれましては学校給食の目的を十分にご理解いただき、給食費の納期限内の納入にご協力をお願いいたします。

なお、お支払いは便利な口座振替をぜひご利用ください。

学校給食センター第一給食センター ☎572-4177



国立第二小学校改築工事実施設計が完了しました

令和2年度に策定した基本設計に基づき、建物の詳細な仕様等を決定する実施設計が完了しました。工事費に係る補正予算を令和4年国立市議会第4回定例会に提案しました。実施設計の内容については、市ホームページでご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

教育施設担当



総合教育会議が開催されました

10月25日（火）に総合教育会議（市長と教育委員会で構成）が開催されました。会議では【令和5年度教育施策について～次世代の育成と国立ブランド向上に向けたまちづくり～】を議題としました。

来年度の教育施策の中から、特にインクルーシブ教育や不登校対応について様々な意見交換がなされました。今後も市長と教育委員会が密に連携をして教育成果につなげていくことを確認し、閉会いたしました。（会議録はホームページで12月中に公開予定です。）

教育総務課

教育委員会の動き

教育委員会は、前号でお知らせした以降、8月から11月まで定例会を計4回開催しました。

（主な議案）

- 国立市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則案について
- 国立市立学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則案について
- 第34期国立市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 第24期国立市図書館協議会委員の委嘱について
- 国立第二小学校改築工事実施設計概要について
- 国立市立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案について

（主な報告事項）

- 令和4年度 第1回QR-U結果（市全体）の分析について
- 令和4年度教育委員会各課の事業計画の推進状況について
- くにたちの学校給食食育ビジョン（案）について

教育総務課

食育推進のため、学校給食センターの栄養士が、「献立メモ」を作成しています



国立市では、学校における食育の推進を図る観点から、学校給食が「生きた教材」となるよう、日々の献立のねらいを明確にし、それらの情報を伝えるため、学校給食センターの栄養士が「献立メモ」を作成しています。

「献立メモ」は、郷土料理や行事食などの献立紹介、旬の食材や珍しい食材の紹介、食事マナー、栄養のはなしなど、食育に関する幅広い内容となっていて、小・中学生にもわかりやすく作成しています。「学校給食への興味関心を深めてほしい」、「苦手な食べ物にも挑戦してほしい」、「できるだけ完食を目指してほしい」などの思いを込めて作成しています。

小学校では毎日作成し、各クラスに掲示しています。中学校では週1回程度作成し、各階に掲示しています。給食当番や放送委員が読み上げるなどして、各学校で活用しています。



過去に発行した献立メモ

くにたち野菜

◀地元で収穫される新鮮な「くにたち野菜」も積極的に給食に使用しています。その時には必ず紹介しています。

問い合わせ
第一給食センター（小学校給食）☎572-4177
第二給食センター（中学校給食）☎575-7855

就学時健診日に、入学前のお子さまや保護者の方などを対象に小学校給食試食会を開催しました

働く保護者の方でも参加しやすいよう、各小学校の就学時健診日に合わせた試食会を10月、11月に開催しました。参加者の皆様からは、以下のような好評のご意見をいただきました。

- ◆給食というと、私が子供の時のことを思い出しますが、何倍もおいしく感じました。来年から楽しみにになりました。
- ◆この機会に実際にいろいろ見学できて、子供と一緒に試食できて良かったです。給食への取り組みも直接聞けて安心できました。
- ◆作る様子やトラックなど見学させていただき興味深かったです。給食が心配だったのですが、事前に様子を見る機会を頂けてありがたかったです。
- ◆子供はこれから毎日楽しみなようです。美味しい！と言っていました。

試食会は、就学時健診日以外でもお申し込みに応じて、日々実施しています。詳細は市ホームページでもご確認いただけます。ぜひ、小中学校給食を試食してみてください。多くの方のお申し込みをお待ちしています。

学校給食センター第一給食センター ☎572-4177

▲試食会ホームページQRコード



新しい学校給食センターの建設工事を行っています

令和4年4月9日から建設に着手し、11月16日現在鉄骨建方工事を行っています。令和5年6月に建設工事を完了し、同年2学期の新しい学校給食センターのオープンに向け、事業を進めていきます。

新学校給食センター開設準備室



国立市のフルインクルーシブ教育の実現に向け、語り合いませんか

本市の目指すフルインクルーシブ教育について、学校・家庭・地域など、様々な立場の方と直接、意見交換を行う「国立市のフルインクルーシブ教育を語る会」を開催します。

日時 令和4年12月18日（日）午前10時から正午まで

場所 国立市役所 3階 第1・第2会議室

内容 (1)【情報提供】「日本及び世界、国立市のインクルーシブ教育の現状について」 (2)【意見交換】「『フルインクルーシブ教育』ってなんだろう？」

参加者 国立市内在住・在勤の方なら、どなたでも参加できます。

申込み 下記、電話またはメールにて、令和4年12月9日（金）まで。なお、お申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をお知らせください。（電話）教育指導支援課 042-576-2111（代）（内線 337）（メールアドレス）tokubetsusien@city.kunitachi.lg.jp

定員 25名程度（定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。）

*参加者へは、開催日の3日前までにご連絡します。

教育指導支援課

